

【目指す学校像】

- 安全の下、一人一人が認められ、安心して生き生きと学べる学校
- 保護者、地域から信頼される社会に開かれた学校
- 教職員が互いに支え合い、やりがいと誇りをもって協働する学校

学校教育目標

豊かな心を持ち、生き生きと活動する子供を育成する

【目指す教師像】

- 高い倫理観を持ち、信頼と期待に応える教師
- 子供に寄り添う、人間性豊かな教師
- 自己教育力の向上を目指し研鑽する教師

1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- ◎学習計画や学習評価に見通しを持たせるとともに、子供の発言や疑問を生かして、身に付けるべき資質能力を明確にしためあてを設定し、めあてとつながるまとめ・自らの学びを自覚できるよう視点を明確にした振り返りのある学習過程による授業改善に努めます。
- ◎指導者用デジタル教科書や一人1台端末を、ねらいを達成するために有効に活用するとともに、個別最適な学びと協働的な学習を一体的に推進し、学習の個性化にも取り組みます。
- ◎道徳の別業を軸とした教科等横断的な教育課程の編成により、実生活や社会との関連を意識した教育活動の質の向上を図ります。

2 積極的な生徒指導と「特別の教科 道徳」を要とする心の教育(人権教育)の充実

- ◎児童を行事等にできるだけ参画させ、誰でも活躍・発表できる場を増やし、主体的な活動を通して自己肯定感や自己有用感を高められるよう、行事や委員会活動等の充実に努めます。
- ◎児童を行事等にできるだけ参画させ、だれでも活躍・発表できる場を増やし、主体的な活動を通して自己肯定感や自己有用感を高められるよう、行事や委員会活動等の充実に努める。
- ◎2学期から縦割り班活動を取り入れ、異学年交流を通して他者とかかわる喜びを体感させ、自己有用感を高めることや他者への敬意の念を涵養することに努めます。
- ◎「特別の教科 道徳」など、学年内での交換授業を取り入れ、子供たちをより多角的に見取りながら互いに支え合い高め合い、気持ちよく生活できる居心地の良い集団(学級等)づくりを行います。
- ◎特別支援教育の視点を生かした学習指導・学級経営を推進します。

3 地域の環境を生かした教育活動の推進

- ◎桃ノ木川を愛する心を育む「ラブ・リバー活動」や読み聞かせボランティアなど地域人材等の外部人材を活用した教育活動を充実させ、地域と一体となった特色ある教育活動を実施します。

4 保護者や地域住民との協働による学校運営の充実

- ◎各種通信や学校HPで学校の情報を定期的に発信し、PTA活動や学校評議員会等を通して、家庭や地域からの学校に対する意見等も積極的に取り入れていきます。
- ◎授業参観や懇談会、オープンスクール、運動会などの学校行事を通して、教育活動の意図や思いを伝え、理解を図ります。

5 教職員の職能成長

- ◎一人1授業を行うことにより、お互いの授業を自由に見合うことができる風土を醸成し、より質の高い授業づくりを協働して行い、各分掌の業務を通して学校運営への参画の意識を高めます。
- ◎OJTや校内研修・自己研修を通して、日常的に教え合い、高め合う教師集団の形成に努めます。

6 勤務環境の改善

- ◎「教科担任制」の導入により教材研究の精選等を行い、子供と向き合う時間の確保につなげます。
- ◎年度初めに授業をカットすることで、新年度の学年・学級体制を整える時間的余裕を確保します。
- ◎各自の教材研究等によって得られた成果を電子的に保管し共有することにより、効率的な質の高い授業づくりを行います。
- ◎働き方改革事例集を参考に、本校に合った取組を協議し、導入実践します。

よく考える

深く考え判断し、自ら学びとる子

思いやりをもって
互いに高め合う子

たすけ合う

たくましさを持ち
ねばり強くやり抜く子

やりとおす



1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- ◎学習計画や学習評価に見通しを持たせるとともに、子供の発言や疑問を生かして、身に付けるべき資質能力を明確にしためあてを設定し、めあてとつながるまとめ・自らの学びを自覚できるよう視点を明確にした振り返りのある学習過程による授業改善に努めます。
- ◎指導者用デジタル教科書や一人1台端末を、ねらいを達成するために有効に活用するとともに、個別最適な学びと協働的な学習を一体的に推進し、学習の個性化にも取り組みます。
- ◎道徳の別業を軸とした教科等横断的な教育課程の編成により、実生活や社会との関連を意識した教育活動の質の向上を図ります。

2 積極的な生徒指導と「特別の教科 道徳」を要とする心の教育(人権教育)の充実

- ◎児童を行事等にできるだけ参画させ、誰でも活躍・発表できる場を増やし、主体的な活動を通して自己肯定感や自己有用感を高められるよう、行事や委員会活動等の充実に努めます。
- ◎児童を行事等にできるだけ参画させ、だれでも活躍・発表できる場を増やし、主体的な活動を通して自己肯定感や自己有用感を高められるよう、行事や委員会活動等の充実に努める。
- ◎2学期から縦割り班活動を取り入れ、異学年交流を通して他者とかかわる喜びを体感させ、自己有用感を高めることや他者への敬意の念を涵養することに努めます。
- ◎「特別の教科 道徳」など、学年内での交換授業を取り入れ、子供たちをより多角的に見取りながら互いに支え合い高め合い、気持ちよく生活できる居心地の良い集団(学級等)づくりを行います。
- ◎特別支援教育の視点を生かした学習指導・学級経営を推進します。



3 地域の環境を生かした教育活動の推進

- ◎桃ノ木川を愛する心を育む「ラブ・リバー活動」や読み聞かせボランティアなど地域人材等の外部人材を活用した教育活動を充実させ、地域と一体となった特色ある教育活動を実施します。

4 保護者や地域住民との協働による学校運営の充実

- ◎各種通信や学校HPで学校の情報を定期的に発信し、PTA活動や学校評議員会等を通して、家庭や地域からの学校に対する意見等も積極的に取り入れていきます。
- ◎授業参観や懇談会、オープンスクール、運動会などの学校行事を通して、教育活動の意図やよさ・思いを伝え、理解を図ります。

5 教職員の職能成長

- ◎一人1授業を行うことにより、お互いの授業を自由に見合うことができる風土を醸成し、より質の高い授業づくりを協働して行い、各分掌の業務を通して学校運営への参画の意識を高めます。
- ◎OJTや校内研修・自己研修を通して、日常的に教え合い、高め合う教師集団の形成に努めます。

6 勤務環境の改善

- ◎「教科担任制」の導入により教材研究の精選等を行い、子供と向き合う時間の確保につなげます。
- ◎年度初めに授業をカットすることで、新年度の学年・学級体制を整える時間的余裕を確保します。
- ◎各自の教材研究等によって得られた成果を電子的に保管し共有することにより、効率的な質の高い授業づくりを行います。
- ◎働き方改革事例集を参考に、本校に合った取組を協議し、導入実践します。